

事務事業 No./名称	■サービス部門 経企-06 定額給付金給付事業					タイムスコード及び個別事業名		
		□支援部門					1409	定額給付金給付費
主管課	定額給付金等支給担当(経営企画課) 関連課							
分野名	行財政運営							
目標 (目標値)	市民への生活支援と地域振興を目的とした定額給付金を給付する。							
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考				
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)				
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯					
運営資源 状況	決算値	2,691,096千円		人件費は、経企-05 定額給付金給付事 務に計上していま す。				
	(国・県)	2,691,096千円						
	(負担金等)							
	(一般財源)							
	人員配置数							
	人件費							
協働の パートナー								
事務事業 運営経費	総事業費	2,691,096千円				指標と評価		
	市民1人当 りの経費	15,232円				指標	給付額	
	対象者1人 当りの経費					評価	◎	
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名	横浜市	藤沢市	逗子市	茅ヶ崎市	横須賀市	◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退	
	給付額(千円)	53,919,368	6,015,648	922,312	3,508,948	6,489,444	目標値	実績値
							20年度	
							21年度	2,720,320千円 2,691,096千円
							22年度	
						23年度		
						最終年度 (年度)		
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 定額給付金は、金融機関への振込と現金給付で行ったが、申請金融機関名や口座番号の指定間違い等により振込不能な申請が多くあり、金融機関及び申請者への確認作業が必要となった。また現金での給付を希望する市民の人数の推定が難しく、給付体制や事務処理手順の検討が必要であった。						
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 振込の事務は、金融機関への照会や、申請者への確認作業等をマニュアル化することにより効率的な事務処理を進めた。現金給付は、紙幣入出金機の使用により正確で迅速な出金と現金管理が可能となり、トラブル無く事務処理をすることができた。						
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) なし。						
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) なし。						
一次評価(課長評価)			二次評価(部長評価)					
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了								
評価結果	改善の必要性	金融機関への振込と現金給付を平行して行うことから、給付状況の厳密な管理が必要であったが、給付システムの適正な運用や正確な事務処理により、二重給付等のトラブルを回避することができた。			評価結果	改善の必要性	本事業により市内世帯に給付された給付金は非常に巨額であるが、地域活性化に資する効果については、今後の本市及び全国の社会情勢等を見ながら判断する必要がある。	
E	無				E	無		
課長名		嶋村 豊一			部名・部長名		経営企画部長 瀧澤 由人	